

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05030050

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	11	社会保障制度の充実	事業優先度	B		
単位施策	1	国民健康保険・後期高齢者医療運営の安定化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	後期高齢者健康診査事業受託業務		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	健康診査受診率		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	15%		関係例規・法令名	有 高齢者の医療の確保に関する法律		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働						

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	○北海道後期高齢者医療広域連合が実施する被保険者に対する健康診査業務及び保健指導業務を受託実施する。	・後期高齢者健康診査の受託実施 健診委託料・消耗品費	・後期高齢者健康診査の受託実施 健診委託料・消耗品費	・後期高齢者健康診査の受託実施 健診委託料・消耗品費	・後期高齢者健康診査の受託実施 健診委託料・消耗品費	・後期高齢者健康診査の受託実施 健診委託料・消耗品費	
	事業費(千円)	3,885	777	777	777	777	
	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
その他		2,925	585	585	585	585	
一般財源	960	192	192	192	192		
実績事業費	事業費(千円)	3,838	943	916	749	572	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	2,774	676	649	551	427	
一般財源	1,064	267	267	198	145		
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等) ・後期高齢者医療広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(受診率17.9%)	(実施内容等) ・後期高齢者医療広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(受診率16.2%)	(実施内容等) ・後期高齢者医療広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(受診率13.8%)	(実施内容等) ・後期高齢者医療広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(受診率9.8%)	
	その他 ・受託収入	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	15%	15%	15%	15%	
		年度達成率	121%	118%	96%	74%	
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	24%	48%	67%	82%	
	備考欄					99%	

事業名	後期高齢者健康診査事業受託業務	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保険給付係長	前田 忠和

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	後期高齢者医療被保険者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	健康診査受診率		
【抱える課題やニーズは】	後期高齢者医療制度の円滑運営		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	健診を実施することで生活習慣病等を軽症のうちに発見し重症化を予防する。		① 健康診査受診率 (受診者数÷被保険者数)	目標年度	平成29年度
				目標値	15.0%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	医療費の抑制		②	実績値	11.2%
		達成度		74.7%	
		目標年度		平成29年度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	健診実施の周知	広報折込チラシやホームページ等で健診の内容や集団健診の実施日を周知した。また、特定健診と一体的な周知を実施した。			
	健診の実施	特定健診とあわせて実施。年4回(7日)の集団健診と町契約医療機関での個別健診を実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	道内全ての市町村が広域連合から事務を受託し、高齢者の疾病早期発見と健康の保持増進に努め、医療費の抑制、適正化を図るための事業であり、本町においても必須事業であり、高齢者の健康保持と増進のため、継続していく必要がある。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	目標値には達していないが、町民(被保険者)の健康の維持・増進が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	集団健診の日程の設定や来庁者への受診勧奨などにより、受診しやすい仕組みづくりに努めた。また、特定健診の実施に合わせ、後期高齢者健診を実施したことにより、事務費や作業等の軽減が図られた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	広域連合から1割分は個人負担とされているが、高齢者であることや1割分の経費も少額であることから、個人負担を求めず町負担としている。受診者の選別はしておらず受診の機会は平等であるため公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	受診率目標値に達していないものの、道内市町村と比較して平均以上の受診率を満たしていることから、町民(被保険者)の健康維持、増進が図られている。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/内容の見直し・変更
	引き続き、集団健診の日程調整やチラシ折込み等による受診勧奨を行い、受診率の向上に努めるほか、給付実績から、定期的な通院をしておらず健診を受けていない健康状態不明者を把握し、受診を呼びかける。

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止